

## 4.4 WebNACCS処理方式（Webブラウザを使用）

### 4.4.1 処理方式概要

NACCSにおけるWebNACCS処理方式（Webブラウザを使用）概要を、図4-4-1に示す。なお、e-mail送信については、「4.6.1 e-mail」を参照すること。

また、WebNACCS処理方式のみを利用する利用者へのEXC電文※出力は、業務処理にてエラーとする。そのため、WebNACCS処理方式のみを利用する利用者が、EXC電文出力する帳票を受け取る必要がある場合、netNACCS等のWebNACCS以外の処理方式を併用する必要がある。

EXC電文については、「5. 宛先管理」を参照すること。

※WebNACCS「帳票確認（WNC）」業務で出力対象となっているEXC電文は除く。

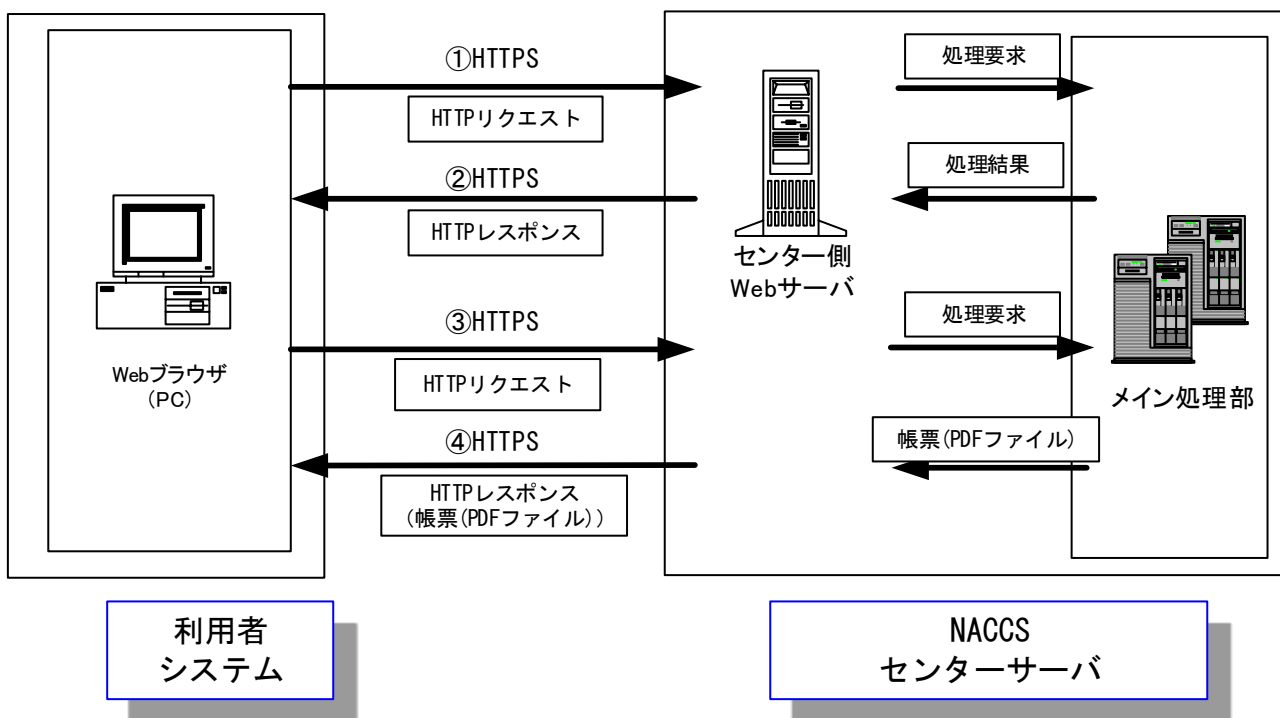


図 4-4-1 WebNACCS 処理方式（Web ブラウザを使用）の処理方式概要

- ① 利用者は、センター側 Web サーバの URL に Web ブラウザを利用してアクセスし、実施したい業務の画面に遷移し、必要とされる項目の入力や、ボタン押下を行う。
- ② Web サーバでは、①で利用者が行った要求に対応したアクションから、メイン処理部に対して処理要求電文を送信する。メイン処理部では、送信された処理要求電文に基づき業務処理を行った後、利用者の Web ブラウザに対して、処理結果を示す画面が返却される。利用者は、Web ブラウザの業務画面にて処理結果を確認する。
- ③ 利用者が帳票を出力する場合は、センター側 Web サーバの URL に Web ブラウザを利用してアクセスし、出力したい帳票に対応する業務画面に遷移し、必要とされる項目の入力や、印刷ボタン押下等を行う。

- ④ Web サーバでは、③で利用者が行った要求に対応したアクションから、メイン処理部に対して処理要求電文を送信する。メイン処理部では、送信された処理要求電文に基づき帳票（PDF ファイル）作成を行った後、利用者の Web ブラウザに対して、帳票（PDF ファイル）を返却する。利用者は、Web ブラウザのプラグインを利用し画面にて帳票（PDF ファイル）を確認し、印刷する。

#### 4.4.2 通信プロトコルの詳細

WebNACCS における通信プロトコルには、ネットワーク・トランスポート層に TCP/IP、その上位層には、HTTPS を採用する。ただし、本処理方式の通信制御は、すべて Web ブラウザが行うため、利用者は通信プロトコルを意識する必要はない。

### 4.4.3 業務処理シーケンス

WebNACCS 処理方式における業務処理シーケンスを、図 4-4-2 に示す。

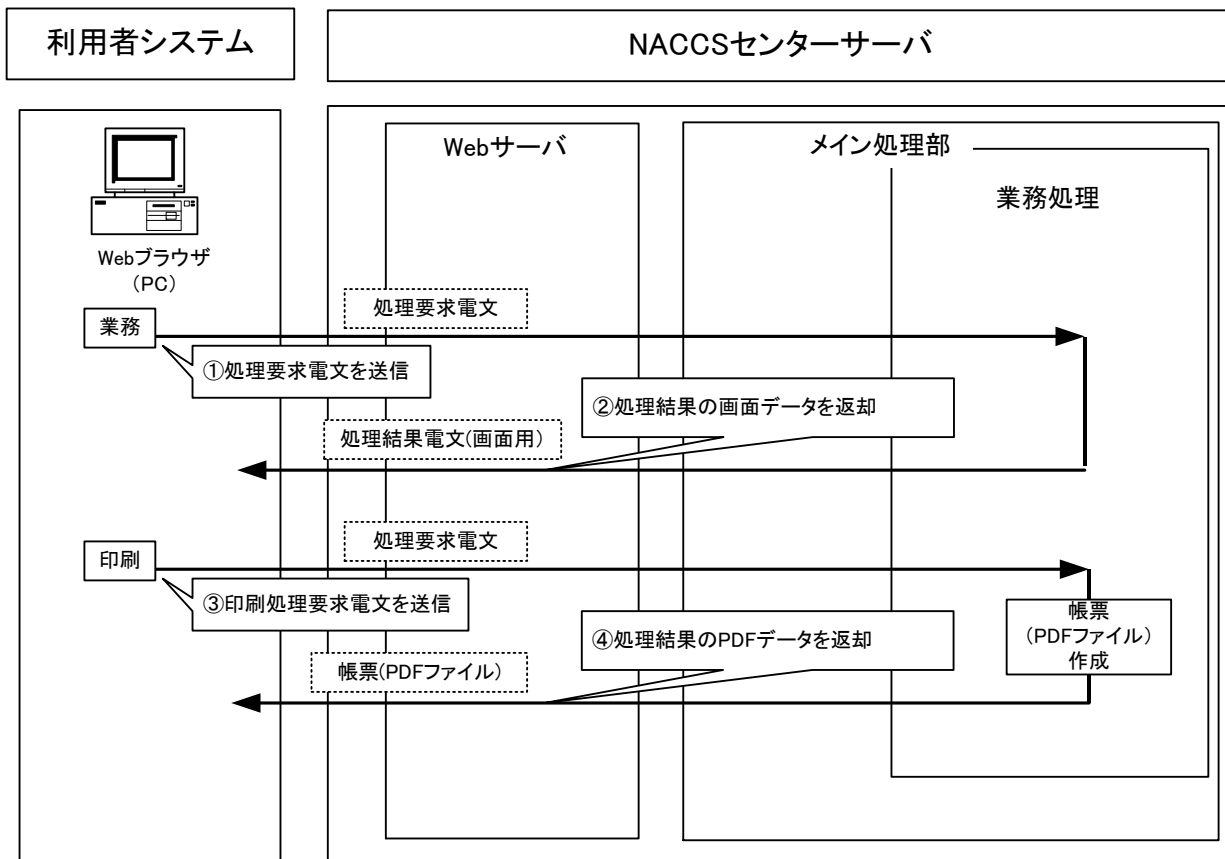


図 4-4-2 WebNACCS における業務処理シーケンス例

- ① Web ブラウザからセンター側 Web サーバの URL にアクセスし、業務画面に必要な項目を入力し、処理要求電文を 1 件送信する。
- ② 処理結果電文（画面用）が、利用者の Web ブラウザ画面に表示される。
- ③ 利用者は、Web ブラウザを操作し、出力したい帳票に対応する業務画面に遷移した後、印刷ボタンの押下等によって、処理要求電文を送信する。
- ④ 帳票（PDF ファイル）が、利用者の Web ブラウザに返却される。